



第2次阿波市総合計画

「かがやく」わたしの 阿波未来プラン

概要版

2017
2026

～あすに向かって人の花咲くやすらぎと感動の郷土・阿波市くに～



「あすに向かって人の花咲く

やすらぎと感動の郷土・阿波市」を目指して



阿波市では、これまで、市の将来像である「あすに向かって人の花咲くやすらぎ空間・阿波市」の実現を目指し、平成19年3月に策定した「第1次阿波市総合計画」のもと、市民の皆様とともに、新市としての基盤づくりや一体感の醸成に取り組んでまいりました。

一方で、近年、我が国の「人口減少」と「東京一極集中」がますます深刻となる中、東日本大震災以降も、全国各地で頻発する地震や豪雨など、様々な大規模自然災害の脅威にさらされており、地域を取り巻く環境は一層厳しくなっております。

本市におきましても、加速する高齢化と人口減少への対応をはじめ、安心・安全のまちづくり、基幹産業である農業を軸とした地域の活性化など、本市が将来にわたり発展し続けていくために取り組むべき課題は山積しております。

こうした動向を踏まえ、新たな視点と発想のもと、本市のまちづくりを次なるステージへと進めるため、市民と行政がともに手を携え、取り組むべき新たな指針として、「第2次阿波市総合計画」を策定いたしました。

本計画では、前計画で紡ぎ上げてきた「市民一人ひとりが主役となって人の花を咲かせ、やすらぎのあるまちをつくる」という“物語”をしっかりと継承するとともに、合併以来培われた本市の「市民力」「地域力」にさらに磨きをかけ、住む人にも来る人にもやすらぎと感動を与えられるまちづくりを進め、誰もが「訪れてみたい」「住んでみたい」「住み続けたい」と思える阿波市を築いてまいります。

そのためには、これまで以上に市民の皆様と知恵をしぼり、創意工夫を重ねながら、それぞれの持てる力を結集して取り組んでいく必要がありますので、今後ともご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定に際し、ご尽力を賜りました総合計画審議会委員をはじめ、市議会議員の皆様、さらには、市民アンケート調査等を通じて貴重なご意見、ご協力を賜りました多くの皆様に心から厚くお礼申し上げます。

平成29年3月

阿波市長 野崎國勝

「かがやく」わたしの阿波未来プランとは？

計画の役割は？

阿波市民みんなのまちづくりの“みちしるべ”

市民にとっては、これからのまちづくりの方向性や必要な取り組みを行政と共有し、まちづくりに積極的に参画・協働していくための“みちしるべ”となるものです。

阿波市行政の総合的な経営指針・主張

市行政にとっては、将来にわたって活力と魅力あふれる阿波市をつくり上げ、持続していくための総合的な経営指針となるとともに、国や徳島県、周辺自治体に対し、阿波市の主張を示すものです。

計画の構成と期間は？

基本構想

本市が10年後に目指す姿と、それを実現するための計画の体系や方針などを示したものです。
計画期間は、平成29年度から平成38年度までの10年間とします。

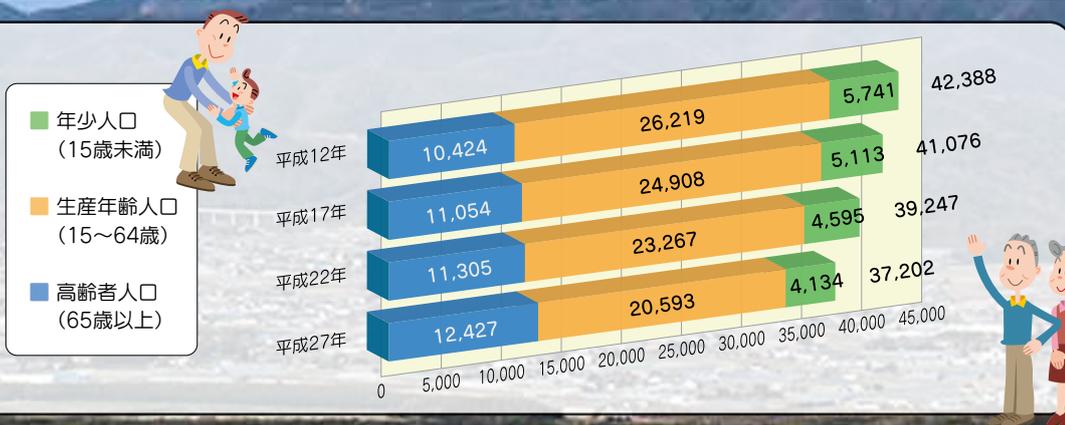
基本計画

基本構想に基づき、今後行う施策の内容を示したものです。社会環境の変化に対応できるよう、前期・後期に分け、それぞれ計画期間を5年間とし、策定します。また、計画期間中においても必要に応じ適宜見直しを行います。

実施計画

基本計画に基づき、今後行う具体的な事業や事業費等を示したもので、別途策定します。
計画期間は、3年間とし、毎年度見直しを行います。

人口の推移（年齢3区分別人口）



新たなまちづくりへの展望

生かすべき特性・資源

① 高品質な農産物を供給する県下有数の農業のまち

本市は、レタスやナス、トマト、エンドウ、キャベツ、ブドウをはじめ、高品質な農産物を供給する県下有数の農業のまちです。現在、JA系統での農産物出荷高が18品目にわたり県内第1位となっているほか、乳用牛・肉用牛・豚の飼養頭数も県内第1位となっています。



② 防災体制が充実した自然災害に強いまち

本市では、南海トラフ巨大地震の発生予測等を踏まえ、防災体制の充実を積極的に進めてきました。また、市全体の防災力の強化を重視し、新庁舎及び交流防災拠点施設「アエルワ」、学校給食センターを整備しました。これらの施設は、県下全域の後方支援も行える機能を持つ施設であり、広域物資輸送拠点施設に指定されています。



③ 子育て環境が充実した子育てしやすいまち

本市では、「子育てするなら阿波市」をキャッチフレーズに、子育て支援に力を入れています。最近では、第3子以降の子ども保育料の無料化や中学3年修了時までの医療費の助成等の制度化、子育て支援拠点事業の充実、認定こども園の開設など、市全体で子育てを応援する取り組みを積極的に行っています。



④ 水と緑の豊かな自然が息づくまち

本市は、阿讃山脈を背に、吉野川をのぞむまちであり、輝く緑と清らかな水、澄んだ空気に包まれた豊かな自然が息づいています。特に、「四国三郎」の名で親しまれる吉野川は、昔も今も人々に様々な自然の恵みをもたらしているほか、流域一帯は、四季折々に変化する優れた自然景観を誇ります。



⑤ 交通の要衝として重要な位置を占めるまち

本市は、古くから阿波北部の東西交通の要衝として栄えてきました。現在でも、主要地方道鳴門池田線や国道318号などが走るほか、徳島自動車道が東西に走り、土成インターチェンジと阿波パーキングエリアが設置されており、広域的な交通の要衝として重要な位置を占めています。



⑥ 人々を癒す観光・交流資源があるまち

本市には、「阿波の土柱」や「四国霊場札所」などの文化財や名所旧跡のほか、「天然温泉御所の郷」や「阿波土柱の湯」などの温浴施設、「柿原堰」、「吉野ウォーターパーク」、「道の駅どなり」、県立自然公園やゴルフ場、イベント・祭り、特産品等々、人々を癒す観光・交流資源があります。



⑦ 人と人とのつながりが強く、市民活動が活発なまち

古くから培われてきた人と人とのつながりの強さや市民の郷土愛、奉仕精神は、本市の優れた特性・資源の一つです。また、自治会活動やボランティア活動、防災活動、地域安全活動、文化・スポーツ活動、健康づくり活動をはじめ、様々な分野で自主的な市民活動が活発に進められています。



反映すべき市民の声（アンケート結果より）

市への愛着度と今後の定住意向〔市民・中学生〕

市への愛着度

〔市民〕“愛着を感じている” 79.2% 〔中学生〕“好きだ” 85.4%

今後の定住意向

〔市民〕“住み続けたい” 83.3% 〔中学生〕“住み続けたい” 66.3%

市の各環境に関する満足度〔市民〕

満足度が高い項目

第1位 ごみ処理・リサイクル等の状況 第4位 保健サービス提供体制
第2位 水道の整備状況 第5位 学校教育環境
第3位 消防・救急体制

満足度が低い項目

第1位 バス交通の状況 第4位 工業振興・企業誘致の状況
第2位 雇用・勤労者対策の状況 第5位 道路の整備状況
第3位 観光振興の状況

※13ページに表を掲載

今後のまちづくりの特色〔市民・中学生〕

今後のまちづくりの特色

〔市民〕

- 第1位 健康・福祉のまち
- 第2位 安全・安心のまち
- 第3位 子育て・教育のまち
- 第4位 商工業のまち
- 第5位 環境保全のまち

〔中学生〕

- 第1位 環境保全のまち（自然や環境にやさしいまち）
- 第2位 安全・安心のまち（犯罪が少なく、災害に強いまち）
- 第3位 快適住環境のまち（快適で安全・安心に暮らせるまち）
- 第4位 スポーツ・文化のまち（文化・スポーツ活動がさかんなまち）
- 第5位 観光・交流のまち（観光がさかんなまち）

対応すべき社会環境の変化

近年、国や自治体を取り巻く環境は大きく変化しています。これからのまちづくりにおいて対応すべき代表的な社会環境の変化は、次のとおりです。

① 進む人口減少、求められる地方創生・一億総活躍社会

⑤ 求められる教育再生への取り組み

② 頻発する大規模災害、高まる安全・安心への意識

⑥ さらに進む情報化・グローバル化

③ 深刻化する地球環境問題、求められる環境保全

⑦ 重要性を増す支え合い助け合う社会づくり

④ 厳しい状況が続く地方の産業と雇用情勢

⑧ 強く求められる地方の自立と住民の参画・協働

新たなまちづくりへの主要課題

最重要課題

「生涯阿波市」のまちづくり

すべての市民が健康でいきいきと暮らせるまち
豊かな自然の中に、子どもたちの元気な声が響きわたるまち

人口減少が加速し、将来的な市全体の活力の低下が懸念される中、本市が直面する最も重要な基本的な問題は、いかに人口減少に歯止めをかけるかということです。人口減少に歯止めをかけるということは、すべての市民が健康でいきいきと暮らし、豊かな自然の中に、子どもたちの元気な声が響きわたるまちを目指すことであり、阿波市の魅力に惹かれ、全国から人が集まり、多くの人に「ずっと住みたい」と感じてもらえるまちを目指すことです。

そのためには、子どもを生き育てやすい子育て環境の整備や長生きできる健康・福祉環境づくり、ずっと住みたいくなる、移り住みたいくなる安全・安心・快適な生活環境づくり、市の特色を取り入れた魅力ある教育環境の整備、安定的な所得を得るための仕事の確保、便利な公共交通や道路網の整備、住まいの確保など、様々な分野における取り組みを一体的に進め、阿波市誕生からこれまでの約10年間に築き上げてきた基盤を活用し、さらに1歩2歩と確実に前進させていく必要があります。それこそが、「生涯阿波市」のまちづくりです。

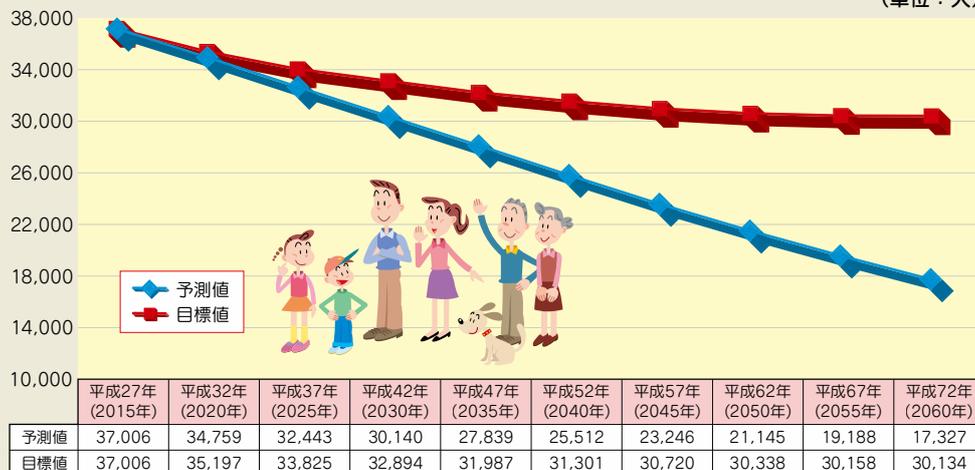
人口の見通し

平成38年度の人口の予測値と目標値

予測値：31,980人
目標値：33,640人

長期的な人口の予測値と目標値（「阿波市人口ビジョン」より）

（単位：人）



注1) 予測値は、国立社会保障・人口問題研究所の推計に準拠した推計による。

注2) 目標値は、合計特殊出生率と転入出数を望ましい値に設定した市独自の推計による。

注3) 「阿波市人口ビジョン」では、予測値・目標値ともに5年ごと（国勢調査年）の数値となっているため、平成38年度の数値は、按分して算出し、10人単位としている。

阿波市が目指す姿

基本理念

協働・創造・自立のまちづくり

市民と行政とが語り合い、知恵をしばり、手を携えて共に行動を起こします。また、行政が担う役割、地域が担う役割、さらに個人が担う役割を互いに認識するとともに、個性と魅力あふれる自立した阿波市をつくり上げていくことを原則とし、基本理念を、「協働・創造・自立のまちづくり」とします。

協働

市民と行政との新たな関係を構築し、知恵と力を合わせて阿波市をつくります。

創造

本市ならではの特性・資源を生かし、個性的で魅力ある、誇りうる阿波市を創造します。

自立

地方分権・地方創生の時代の自主・自立のまちづくり、住民自治の地域づくりを進めます。

将来像

あすに向かって人の花咲く やすらぎと感動の郷土・阿波市

「あすに向かって」

未来を見据えた、持続可能なまちづくり

「人の花咲く」

「人」を中心に据えた、子どもから高齢者まで、市民一人ひとりが輝くまちづくり

「やすらぎ」

心身共に健やかで、安全に安心して、おだやかに暮らすことができる阿波市

「感動」

住む人にも訪れる人にも、勇気と感動を与える、常に前進し躍動する阿波市

「郷土」

ずっと住みたくなる阿波市、戻りたくなる阿波市、移り住みたくなる阿波市

まちづくりの方針

これまでの阿波市の“物語”をしっかりと引き継いだまちづくりを進めます。

「あわ北新市まちづくり計画」(合併時)

「第1次阿波市総合計画」

基本理念：協働・創造・自立のまちづくり

将来像：あすに向かって人の花咲くやすらぎ空間・阿波市

「市民力・地域力をつけ、一人ひとりの市民が、人の花を咲かせ、やすらぎのまちをつくる」という“物語”のあるまちづくりを進めてきました。

これからのまちづくりにおいても、こうした阿波市の“物語”を大切に、しっかりと引き継ぐとともに、阿波市誕生からこれまでの約10年間に築き上げてきた基盤を活用したまちづくりを進めます。

計画の体系



前期基本計画の重点テーマ

本市は、平成17年の4町合併により誕生したまちであり、誕生からこれまでの約10年間は、特に市民の一体感の醸成や、合併という激動の中、行政運営の安定化を図るとともに、未来の阿波市を見据えたまちづくりの基盤として、施設整備を中心とするハード事業に積極的に取り組んできました。

前期基本計画の計画期間となる、これからの5年間は、今まで築き上げてきた基盤を活用し、すべての市民にとって暮らしやすいまちづくりや、市外の方からも「阿波市で住みたい」と感じてもらえる魅力あるまちづくりなど、本市の第2ステージとして前進していくためのソフト事業を重視したまちづくりを推進します。

また、これまで以上に厳しさを増すことが予想される財政状況の中、より一層の危機感を持ち、財政運営のさらなる効率化や、事業の重点化を進めるとともに、市民力の結集による「阿波市らしさ」を重視したまちづくりを推進します。

1 やさしく健やかな阿波

1-1 保健・医療の充実

健康寿命の延伸と予防重視型の社会づくりに向け、市民主体の健康づくり活動の促進を基本に、各種保健事業の充実に努めるとともに、医療ニーズの高度化、専門化に対応し、地域医療体制の充実を進めます。

1-2 子育て支援の充実

「子育てするなら阿波市」のキャッチフレーズのもと、経済的支援の推進や子育て支援サービス・保育サービスの充実をはじめ、結婚・妊娠・出産・育児・教育に至る切れ目のない支援を推進します。

1-3 高齢者支援の充実

高齢者が健康でいきいきと暮らせるよう、介護予防や生きがい対策を推進するとともに、介護が必要な状態になっても安心して暮らせるよう、介護・福祉サービスの充実など地域包括ケアシステム^{※1}の構築に向けた取り組みを進めます。

1-4 障がい者支援の充実

障がい者が可能な限り自立し、安全・安心な生活を送れるよう、居宅での生活や日中の活動を支援する障がい福祉サービスの充実をはじめ、障がい者の自立支援を重視した各種施策を総合的に推進します。

1-5 地域福祉の充実

市民一人ひとりが住み慣れた地域で支え合い助け合いながら安心して暮らせるよう、地域福祉を支える各種福祉団体やボランティア団体等との連携強化を図りながら、地域全体で支え合うネットワークづくりなどを進めます。

1-6 社会保障制度の適正運用

低所得者の自立を促すため、生活保護制度等の適正運用に努めるほか、市民が健康を維持し、不安のない老後の生活を送れるよう、国民健康保険制度の円滑な運営、国民年金制度にかかわる正しい知識の浸透に努めます。

※1 予防・介護・医療・生活支援・住まいなどのサービスが一体的に提供される仕組み。

2 安全・安心・快適な阿波

2-1 消防・防災の充実

南海トラフ巨大地震などの大規模災害への対応力を強化するため、消防団や常備消防の充実、災害時の避難体制の充実、自主防災組織の育成などを図るとともに、県下全域の後方支援も視野に入れた消防・防災・減災体制の確立を図ります。

2-2 交通安全・防犯の充実

交通事故や犯罪のない住みよいまちづくりに向け、市民の交通安全意識の高揚や交通安全施設の整備充実を図るとともに、市民の防犯意識の高揚や自主的な地域安全活動の促進、防犯灯の整備を図ります。

2-3 消費者対策の推進

悪質商法等による被害にあわない自立する消費者の育成に向け、消費者教育・啓発や情報提供を行うとともに、トラブルの未然防止と発生後の適切な対応のため、消費生活に関する相談体制の充実に努めます。

2-4 環境保全の推進

ずっと住みたくなる、移り住みたくなる美しいまちの形成に向け、自然環境・景観の保全や再生可能エネルギーの導入、市民・事業者の自主的な環境保全活動の促進など、環境・エネルギー施策を計画的に推進します。

2-5 ごみ処理等環境衛生の充実

廃棄物の適正処理と廃棄物をできるだけ出さない社会づくりに向け、ごみ収集・処理体制の充実や市民・事業者の自主的な4R運動^{※2}を促進するとともに、ごみの不法投棄の防止、し尿収集・処理体制の充実などに努めます。

2-6 水道・排水処理の充実

安全でおいしい水を安定的に供給するため、水質管理の強化や災害に強い水道施設の構築等を図るとともに、自然環境の保全や美しく快適な環境づくりに向け、各地域の条件に応じた生活排水対策を検討・推進します。

2-7 公園・緑地の充実

市民の交流・いこいの場、子どもの遊び場、防災空間を確保するため、身近な公園の整備検討、既存公園の点検・改修を進めるほか、花と緑のまちづくりを進めるため、市民との協働による緑化、花づくりを推進します。

^{※2} リフューズ（ごみとなるものの拒否）・リデュース（発生抑制）・リユース（再使用）・リサイクル（再生使用）運動。

3 人が輝き合う阿波

3-1 学校教育の充実

郷土を愛し、郷土に戻り、郷土をつくる人材の育成に向け、「生き抜く力」と「郷土愛」を育む教育の推進を重点に、学校施設の整備や家庭・地域との連携、不登校・いじめへの対応など、総合的な取り組みを進めます。

3-2 食育の充実

農業のまちとしての特性を生かし、学校教育の基盤として食育に取り組むとともに、農業の振興や魅力発信、さらには生活習慣病予防をはじめとする健康づくりなど、幅広い視点で食育を推進します。

3-3 生涯学習の充実

市民一人ひとりが自発的意思に基づいて学び、その成果が生かされる学習環境づくりに向け、図書館や公民館、「アエルワ」などの生涯学習関連施設の機能強化、特色ある学習プログラムの整備・提供などを進めます。

3-4 スポーツの振興

すべての市民が生涯にわたってスポーツに親しみ、健康で活力ある生活を送れるよう、スポーツ施設の整備充実、スポーツ団体や指導者の育成、東京オリンピックを視野に入れたスポーツ活動の活性化などを進めます。

3-5 文化芸術の振興

歴史・文化の香り高いまちづくりを進めるため、文化団体や指導者の育成、「アエルワ」の活用等による文化芸術の鑑賞・発表機会の充実に努めるほか、貴重な文化財の保存・活用、歴史館の有効利用などに努めます。

3-6 青少年の健全育成

明日の本市を担う青少年の健全育成に向け、年齢階層で途切れさせない健全育成のネットワークの構築を図るとともに、環境浄化活動や補導活動をはじめとする諸活動の充実、青少年の体験・交流活動の充実などを進めます。

3-7 国際化への対応

国際化の進展に対応し、幼稚園から高等学校までを通じた英語活動の一層の充実、外国語講座の開催等により、国際感覚豊かな人材の育成を進めるほか、外国人が住みやすく訪れやすい環境づくりに取り組みます。

4 豊かで活力ある阿波

4-1 農業の振興と森林の保全

県下有数の農業のまちとして、農業のさらなる振興を図るため、「阿波市ブランド」製品の形成や地産地消の促進、担い手の育成、法人化の促進を重点に、多面的な農業振興施策を推進するとともに、森林の保全・育成に努めます。

4-2 商工業の振興

商工会との連携のもと、商工業の振興に向けた各種活動の活発化を促すほか、経営の安定化に向けた融資制度の活用、新規創業や新たな産業・特産品等の開発を支援する取り組みを進めます。

4-3 観光の振興

観光協会との連携のもと、観光の振興に向けた各種活動の活発化を促すほか、「阿波の土柱」や「金清自然公園」、「宮川内谷川」周辺における観光・交流施設の整備充実などを進めます。

4-4 雇用対策の推進

雇用の場の確保に向け、オーダーメイド型^{※3}の企業誘致等により、新規企業の立地を促進するほか、雇用促進に向けた取り組みとして、就職に関する情報提供や相談等の推進、各種助成制度等の活用を図ります。



▲ 阿波市特産品認証マーク

^{※3} 企業の規模や業種を限定せずに、進出を希望する企業に合わせて土地や周辺環境を整備していくこと。

5 明日への基盤が整った阿波

5-1 計画的な土地利用の推進

現在及び将来にわたって限られた貴重な資源である土地を高度かつ有効に利用していくため、土地利用関連計画の見直し・総合調整を行うとともに、これらの周知や運用により、適正な土地利用を推進します。

5-2 道路・公共交通の充実

広域的な防災拠点としての機能の強化、市民の利便性・安全性の向上等に向け、徳島自動車道の4車線化やスマートインターチェンジの早期実現、国・県道の整備を要請するとともに、市道の整備を推進します。また、市民ニーズに対応した新たな公共交通の導入に向けた具体的な取り組みを進めます。

5-3 情報化の推進

自治体経営や地域活性化に欠かせない社会基盤として、市全体の情報化をさらに進めるため、情報セキュリティ※4対策等に留意しながら、CATV網の利活用、行政内部のICT環境の一層の充実を図ります。

5-4 住宅施策の推進

人口減少の抑制に直結する住宅・宅地の確保に向け、民間事業者等との協力のもと、新たな住宅地の形成や良質・安全な住宅の建設・改修を促進していくとともに、市営住宅の建替や長寿命化を計画的に推進します。

5-5 定住・移住対策の推進

全国から選ばれる阿波市を目指し、市の情報発信の強化を図るほか、移住相談をはじめとする一貫したサポートの実施、空き家の活用、新規就農をパッケージ化した移住促進などの取り組みを行います。



▲ 移住定住ポスター

※4 安全・保護。

6 共に生き、共につくる阿波

6-1 人権尊重社会の確立

誰もが人権を尊重し合い、人権文化が創造していくまちを目指し、家庭、学校、地域社会、職場など、あらゆる場と機会を通じて人権教育・啓発を推進するとともに、人権に関する相談体制の充実を図ります。

6-2 男女共同参画社会の形成

男女共同参画社会の形成に向け、意識改革の推進をはじめ、審議会等への女性の登用、仕事と家庭・地域生活の両立を促す取り組みの推進、DV※⁵などの暴力の根絶に向けた相談・支援体制の充実などに努めます。

6-3 コミュニティ活動の促進

市民力をさらに生かした住民自治の地域づくり、個性豊かな地域づくりを進めるため、コミュニティ組織・活動の育成・支援、地域で活躍する実践的なリーダーの育成、集会施設等の整備充実などを進めます。

6-4 協働のまちづくりの推進

市民と行政との協働のまちづくりを促進するため、広報・広聴活動の充実等により情報の共有を一層進め、複雑・多様化するニーズへの対応を図るとともに、市民や団体の自主的な活動を支援します。

6-5 計画的な行財政運営の推進

自立・持続可能で独自性のある自治体経営を進めるため、事務事業の見直しや職員の資質の向上など行財政改革を推進するとともに、より効率的な財政運営の推進、公共施設の総量や配置の適正化などに努めます。



▲ 自主防災組織 防災訓練



▲ 阿波オープンガーデン

※⁵ 親しい男女間における暴力や虐待。

市民憲章

わたしたちは、阿讃山脈と吉野川に囲まれた豊かな自然、輝かしい歴史や伝統に培われたこのまちに生きる喜びと誇りをもち、「あすに向かって人の花咲くやすらぎ空間・阿波市」の創造をめざしてこの憲章を定めます。

- 1 気持ちのよいあいさつをし、笑顔いっぱいのまちをつくれます。
 - 1 自然や公共物を大切にし、清潔で美しいまちをつくれます。
 - 1 だれにも親切にし、優しさのあふれるまちをつくれます。
 - 1 元気いっぱい仕事に励み、人が輝くまちをつくれます。
 - 1 趣味や特技を磨き教養を深め、心豊かな文化のまちをつくれます。
-



「かがやく」わたしの
阿波未来プラン

第2次阿波市総合計画概要版

平成29年3月

発行／阿波市

〒771-1695 徳島県阿波市市場町切幡字古田201番地1

TEL:0883-36-8700

FAX:0883-36-8760

<http://www.city.awa.lg.jp>
